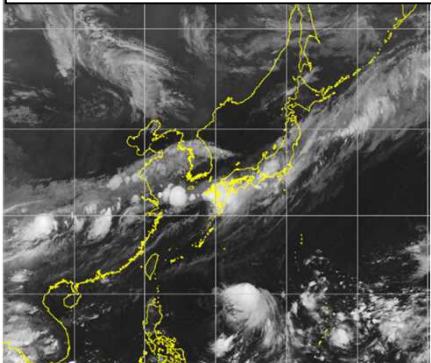


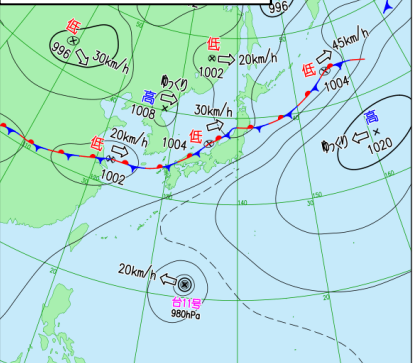
令和7年8月11日 前線に伴う降雨における防災操作の概要

- 徳山ダムのある東海地域では、日本海側から東北地方に停滞する前線の影響を受け暖かく湿った空気が流れ込み一部の地域で大雨となりました。
- 徳山ダム流域では、8月10日の2時頃から雨が降り始め、流域平均総雨量は約140mmを観測しました。特に8月11日4時～5時の1時間で22.6mmの降雨を観測しました。
- この降雨の影響で、ダムへの流入量が増加し、洪水量(200m³/s)に達する出水となり、合計約45万m³の水を貯留しました。

8月11日06時 気象衛星赤外線画像



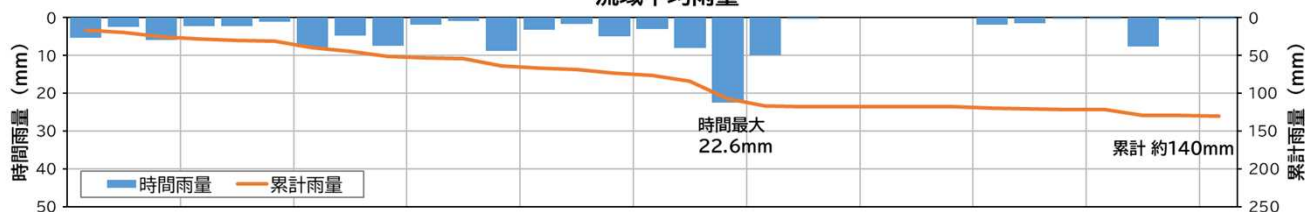
8月11日06時 天気図



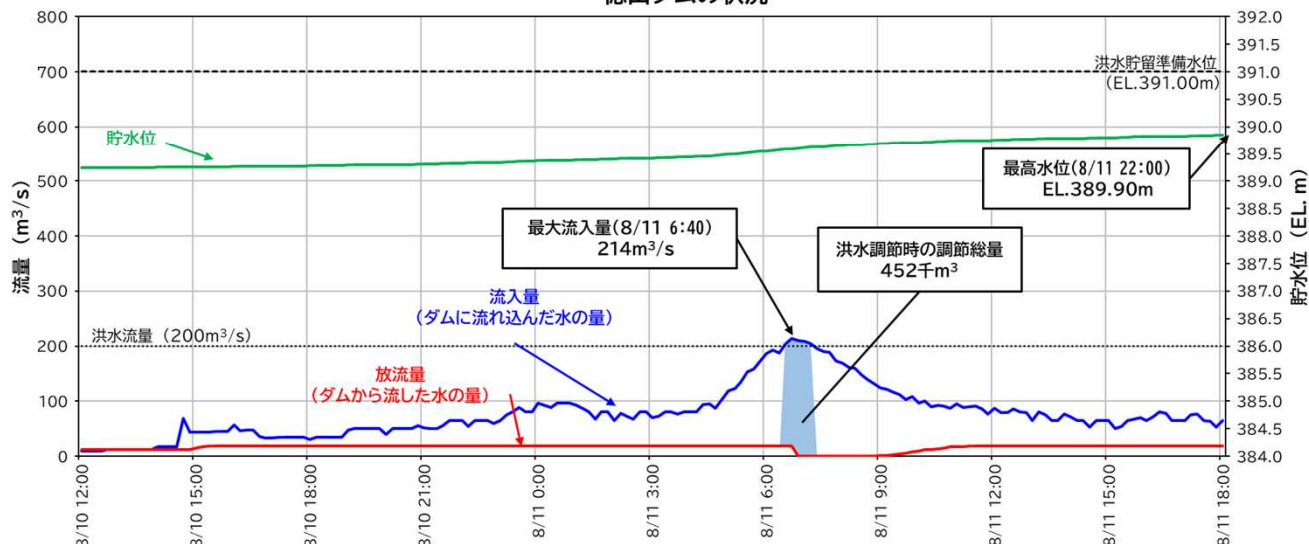
8月11日06時 レーダ雨量



流域平均雨量



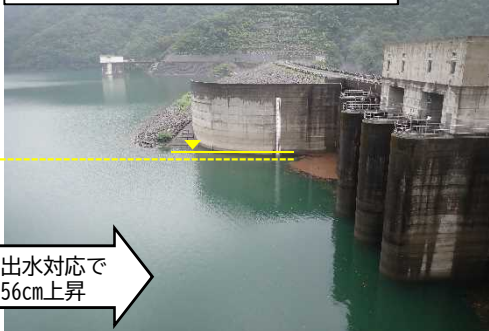
徳山ダムの状況



8月8日 9時 貯水位：EL. 389.45m



8月12日 9時 貯水位：EL. 390.01m



今回の一連の出水対応で
貯水位は約56cm上昇